

# 環境活動報告

(2021年4月～2022年3月)

## 地球温暖化防止 (CO<sub>2</sub>排出削減) に関する取り組み

### ◆地球温暖化防止自主行動計画

- ①常に、前年度よりも温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) の総量削減を目指し、排出数値管理や運用取り組みを行います。
- ②パルシステムグループの一員として、パルシステムグループ温室効果ガス削減計画に参加し、グループ全体で目標達成に取り組みます。  
目標：2030年までに、2013年比で26%以上削減
- ③地域性・独自性などの特色ある取り組みにより、地域・組合員またパルシステムグループ、社会全体での温暖化防止・環境取り組みの推進に貢献していきます。

パルシステム山梨では2009年8月に地球温暖化防止自主行動計画を策定し、二酸化炭素排出量の総量削減に向けた取り組みを進めてきました。計画の検証・見直し、またパルシステムグループとしての計画変更に関連した変更を行い、現在の計画となっています(2019年11月)。また「山梨県地球温暖化対策条例施行規則」に基づく温室効果ガス排出抑制計画への参加(トライアル事業者として)も行っています。

### 【参考：パルシステムグループ温室効果ガス削減計画 要旨】

- (1)パルシステムグループの事業活動に伴うエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出総量を2030年度までに2013年度比で26%以上削減(会員生協総事業高合計1億円当たり排出量は40%削減)します
- (2)サプライチェーン全体での温室効果ガス削減を推進します
- (3)環境保全型の農林水産業と自然環境保全を推進します
- (4)組合員家庭の省エネルギー化を促します
- (5)再生可能エネルギーを広げます

2021年度の取り組み結果は以下のようになりました。

二酸化炭素排出量(電気・燃料・施設ガス)	681,464kg-CO <sub>2</sub>
自主取り組みによるCO <sub>2</sub> 削減量	△228kg-CO <sub>2</sub>
合計	681,236kg-CO <sub>2</sub>

※電気のCO<sub>2</sub>換算係数には、2020年度排出係数(パルシステム電力0.252、東京電力0.447、中部電力0.406)を使用  
自主取り組みによる削減量はエコ通勤(自転車)による通勤での燃料使用削減です。

2021年度の二酸化炭素排出量は前年比で約100.6%と増加しました。  
主な要因は、長野地域への配送開始による配送車両燃料での排出量増加で、甲斐センターでは128.0%となり、全体でも119.5%と増加しました。

他方、電力使用量は、前年比で97.4%と微減したこと、また使用量で全体の約60%を占める甲斐センターが、パルシステムグループの子会社「パルシステム電力」に切り替えたため、CO<sub>2</sub>排出係数が変更となったこともあり、パルシステム山梨全体での増加は100.6%にとどまりました。



当生協の電力の契約状況は下記の通りとなっています。

	2021年度
パルシステム電力	甲斐センター(21年4月～)、一宮センター、西桂センター、本部事務所
東京電力	フェアトレードショップぱるはび
中部電力	諏訪拡大事務所

◆2021 年度 太陽光発電実績

発電実績は下記のとおりです。冷夏・台風などの悪天候で発電量は減少しました。

	甲斐C	一宮C	西桂C	合計
公称最大出力 (kw)	21.84	3	52.3	77.14
発電量 (kWh)	26,683	4,331	61,142	92,156
売電量 (kWh)	—	—	47,787	47,787
CO2削減量 (kg-CO2)	6,724	1,091	15,408	23,223

※電気の CO<sub>2</sub>換算係数は、事業所の使用電力を考慮し、0.252 を使用しました。

※CO<sub>2</sub>削減量は自家消費分のみです。(西桂Cの発電量は全量売電42.3kWと、自家消費10kWを加算した量)

**事業所での取り組み**

2021 年度も引き続きコロナ禍での宅配事業対応、職場での感染予防対策などに取り組むため、緑のカーテン取り組み、環境社会検定試験 (eco 検定) 受験などは見合わせました。

◆プラスチック削減に関する取り組み

ドキュメンタリー映画『マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る 2050 年～』を役職員の環境学習会として位置付け、オンライン視聴を行い、プラまとめ袋回収強化に取り組みました。

グループの商品では、新たに「地球の未来にまじめなボディソープ」が開発されました。容器での紙パック採用や人と環境に配慮した原料調達などが評価され「サステナブルコスメアワード 2021」にて「審査員賞」「企業部門 SDGs 賞」を受賞しました。



「地球の未来にまじめなボディソープ」

**エネルギー政策推進に関する取り組み**

パルシステムグループでは東日本大震災に伴い発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、2012 年 1 月「パルシステムのエネルギー政策」を定め、グループ全体で取り組みを進めています。

- ・「減らす」節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費をいっそう減らします。
- ・「止める」速やかに脱原発を実現します。
- ・「切り替える」原発への依存に替えて、再生可能エネルギーを急速に普及させます。

パルシステムは「協同の力」で生活者がエネルギーを選択できる社会を実現します。

◆「パルシステムでんき」の推進

パルシステムグループの子会社による「パルシステムでんき」の契約受付は、2016 年 11 月より始まり、2021 年度末では、1,717 件の契約保有数となりました。(グループ全体では 49,346 件)

◆「さよなら原発 2022」山梨集会

「さよなら原発 2022」山梨集会について、他団体と連携し実行委員会を形成。梅原理事長が実行委員長を務め、汚染水に関する学習会や脱原発を呼びかけました。

**課題推進チーム「環境」取り組み**

2021 年度、組合員 2 名・役職員 5 名で活動した課題推進チーム「環境」では、電気を中心にエネルギー資源やパルシステムの発電産地の取り組みについて役職員を対象に学習会を開催し、通信も 3 回発行しました。

福島県の太陽光発電産地「飯館電力」によるオンラインでのバーチャルツアーを役職員で体験し、2 月には組合員向けに同様の企画を開催しました。(参加 17 名) 続くコロナ禍の中で、オンラインでの会議や取り組みを模索しました。



飯館電力バーチャルツアーの様子

#### ◆パブリックコメント・意見書の提出

5月総理大臣、経済産業大臣へ、放射能処理水の海洋放出の閣議決定に抗議する意見書を提出しました。また、11月には第6次エネルギー基本計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）について、原発ゼロへの早期移行／再エネ導入目標引き上げ／非化石エネルギーの導入拡大などの趣旨で提出を行いました。

#### ◆食品ロス削減への取り組み

3月、オープンカレッジとして映画『もったいないキッチン』のオンライン上映を開催しました（参加58名）。

また、10月に山梨県の食品ロス削減推進パートナーに登録しました。

パルシステムグループではWeb企画で「もったいない川柳」募集などに取り組みました。



#### その他の活動・諸団体との連携

##### ◆「我が家の田んぼ塾」

コロナ感染状況を見極め、対策を取りながら、米作り体験企画に取り組みました。6家族参加。

##### ◆エコドライブ運動

1998年より、環境にやさしい運転を心がける運動に取り組んでいます。

積み下ろしや駐停車時のエンジンオフ、キーチェーンの徹底、アイドリングストップに加え、「ふんわり発進」「早めのブレーキ」など、燃費に加え安全運転にもつながる運動として取り組んでいます。

##### ◆環境バイザー・出前講座

引き続きコロナ禍で、地域等へ向けた環境関連の出前講座としてはオンラインを活用し、紙すき体験・自然派お掃除講座の2件の実施となりました。またYouTube動画配信の「北杜市子ども環境フェスタ」へは、環境バイザーの『森林講座』動画で参加しました。

##### ◆環境パートナーシップやまなし

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2021」に協賛し、パルシステム山梨も賞を設けました。

##### ◆「やまなしクールチョイス県民運動」へ参加

山梨県の「やまなしクールチョイス県民運動」（「エコライフ県民運動」と「省エネ県民運動」を統合拡充したもの）に事業者としてクールチョイスサポーター登録をしています。

##### ◆第23回ライトダウンやまなし2021

2021年11月に実施された「ライトダウンやまなし」に、引き続き実行委員会へ参加し、消灯呼びかけやイベントの実施に協力しました。

##### ◆広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト

甲府市小瀬のスタジアムを“環境山梨”のシンボルに、と活動する実行委員会へ参加しています。

##### ◆各種会議への参加

甲府市温暖化対策地域協議会、中央市温暖化対策地域協議会、やまなし木質バイオマス協議会等に参加しています。

---

## パルシステム山梨の環境方針

パルシステム山梨は、地球温暖化防止対策や資源循環型の取り組みを通して、持続可能な社会づくりの構築をめざします。

組合員への配送やサービスなどの事業活動や地域・社会への貢献活動を通して、環境負荷の低減をはかります。

地域の人々と環境にやさしい街づくりをすすめるとともに、「環境のパルシステム山梨」として地域から信頼される生協をめざします。

1. 地球温暖化防止・環境対策について、役職員の主体的な行動で、前年度比でのCO<sub>2</sub>排出総量削減に向けて取り組みます。
2. パルシステムグループの一員として、「脱炭素・循環型・自然共生」の社会づくりに向けて取り組みをすすめます。
3. 実際の業務と連動した、環境取り組み目標を設定し、日常業務での環境推進をはかります。
4. 効果的な環境マネジメントシステムの運用に向け、見直しを行い、継続的な改善をはかります。
5. 環境側面に関連する法令や、パルシステム山梨が受入れを決めたその他の要求事項を遵守し、事業活動をすすめます。
6. 地域の市民団体・行政・企業などと連携を深め、環境に対する意識向上に努めます。
7. 上記の活動を推進するため、役職員一人一人への教育・情報共有をすすめます。

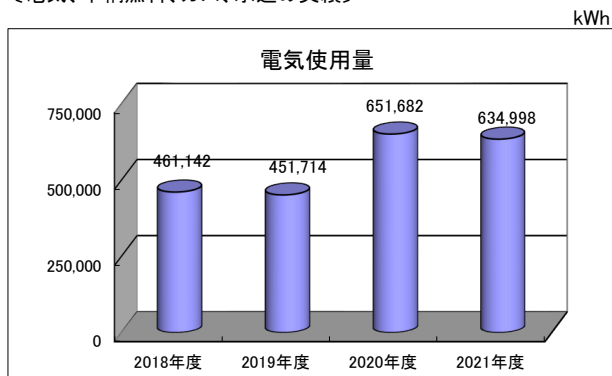
この環境方針は、生活協同組合パルシステム山梨内外に公開します。

2022年5月10日  
生活協同組合パルシステム山梨  
専務理事 志村 宏司

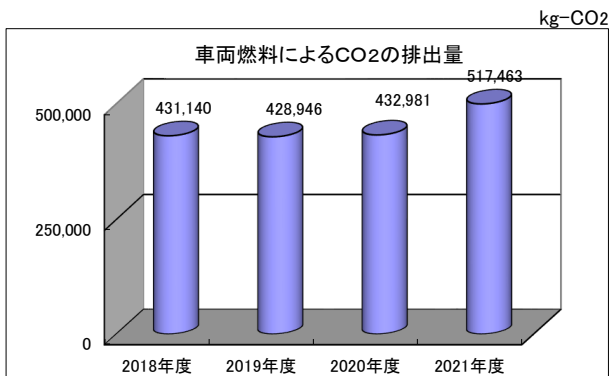
---

## 2021年度電気、車両燃料、ガス、水道の実績

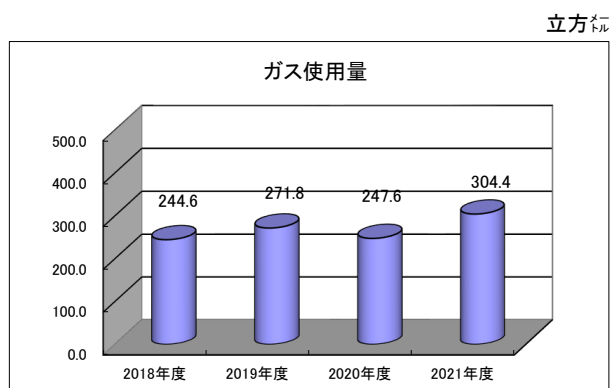
[電気、車両燃料、ガス、水道の実績]



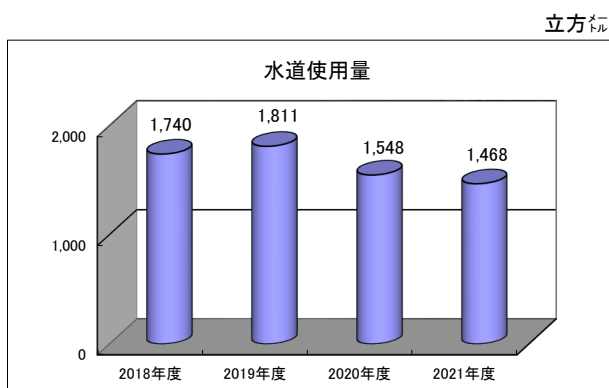
2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
401,142	451,714	651,682	634,998



2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
431,140	428,946	432,981	517,463

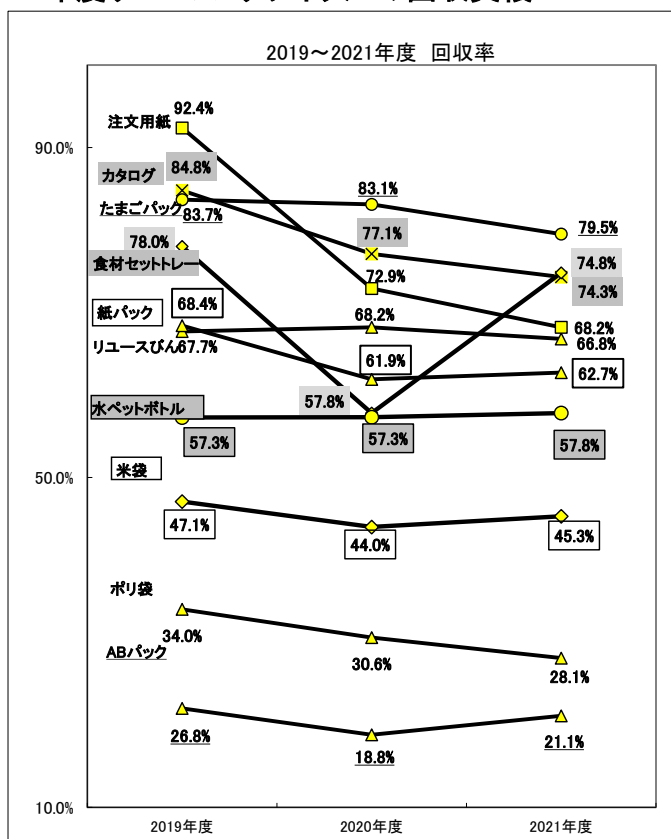


2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
244.6	271.8	247.6	304.4



2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1,740	1,811	1,548	1,468

## 2021年度リユース・リサイクルの回収実績



## 2019~2021年度回収率

	2019年度	2020年度	2021年度
リユースびん	67.7%	68.2%	66.8%
紙(牛乳)パック	68.4%	61.9%	62.7%
ABパック	22.0%	18.8%	21.1%
商品案内(カタログ)	84.8%	77.1%	74.3%
注文用紙	92.4%	72.9%	68.2%
ポリ袋	34.0%	30.6%	28.1%
たまごパック	83.7%	83.1%	79.5%
食材セットトレ	78.0%	57.8%	74.8%
米袋	47.1%	44.0%	45.3%
水ペットボトル	57.3%	57.3%	57.8%

## リユース・リサイクルにおける行政費用の削減効果(推計)

	kg	円
リユースびん	25,847	100,735
紙(牛乳)パック	14,874	57,969
ABパック	3,168	12,347
カタログ	528,910	2,061,352
注文用紙	9,268	36,121
ポリ袋	12,674	49,395
たまごパック	18,863	73,516
食材トレ	2,888	11,256
米袋	937	3,651
水ペットボトル	4,284	16,696
合計		2,423,038

パルシステム山梨で組合員のみなさんから回収したリユース・リサイクル容器や包材の回収重量をあわせて、行政で一般廃棄物として処理した場合の費用を掲載しています。自前でリユース・リサイクルすることで、行政の廃棄物処理に関する費用のうち、2021年度は約2,423万円相当を削減した、と推計されます。

※山梨全体での、ごみ処理量に対するごみ処理費用(推計)は、47.51円/kg  
(参考資料:環境省HP 一般廃棄物処理実態調査結果 令和2年度調査より)